

## ブルゴーニュワイン、WEBセミナー ～知られざる上質なアペラシオン～

**ブ** ルゴーニュワイン委員会（BIVB）によるWEBセミナーが9月2日に開催された。セミナー講師は「第4回A.S.I アジア・オセアニア最優秀ソムリエコンクール」優勝者（THE THOUSAND KYOTO）シェフソムリエの岩田渉氏が務めた。セミナーは白ワイン、赤ワインの2セッションで構成され、白は「プイイ・ロシェ/Pouilly-Loché、プイイ・フイッセ/Pouilly-Fuissé、プイイ・ヴァンゼル/Pouilly-Vinzelles への発見」、赤は「Santenay/ サントネイとそのクリマ/ Climats」がテーマ。ブルゴーニュには誰もが知る著名アペラシオンだけでなく、まだまだ知られていない繊細で上質なワインが出来る優良アペラシオンが多く存在する。ブルゴーニュワインの新たな発見の機会にしてもらいたいと岩田氏は、それぞれのアペラシオンを説明し、白・赤ワイン、各3種を試飲しコメントした。また2020年最新ヴィンテージ情報を紹介、白・赤とも品質が高いとのことだ。



上：セミナー冒頭、BIVB マーケティング & コミュニケーション 副会長のシュヴァリエ氏がメッセージを寄せた  
下：試飲コメントをする岩田氏

## 「尾瀬の水芭蕉プロジェクト」 永井酒造のSDGs 新商品発表会

**永** 井酒造は1992年より続く『水芭蕉』ブランドの新商品『MIZUBASHO Artist Series 2020 片岡鶴太郎』、『同 Floral Sparkling 2020 片岡鶴太郎』、『同 Dessert Sake 2020 片岡鶴太郎』を新発売、9月3日には日比谷ミッドタウン6階 DRAWING HOUSE OF HIBIYA（東京都千代田区）で発売に先立つ記者会見が開かれた。このシリーズではアーティストとのコラボレーションによる付加価値の創造が試みられ、画家としても活躍する俳優の片岡鶴太郎さんが描いた水芭蕉の花がラベルデザインとなっている。また同商品は、持続可能な地域社会実現のために発売されたものでもあり、売り上げの5%が「尾瀬の水芭蕉プロジェクト」に寄付され、気候変動や野生動物による被害で減少している尾瀬の水芭蕉の栽培、育成事業に役立てられる。このプロジェクトは国税庁による「日本産酒類のブランド化推進事業」にも認定されている。会見の中で片岡さんは、「スパークリング、スティル、デザートそれぞれの良さを、グラスを変えて楽しんでみて欲しい」と語った。



上：左から『MIZUBASHO Artist Series Floral Sparkling 2020 片岡鶴太郎』アルコール分12% 360ml・1200円、『同 2020 片岡鶴太郎』アルコール分12% 720ml・1300円、『同 Dessert Sake 2020 片岡鶴太郎』アルコール分12% 300ml・1000円（価格は全て税込）  
下：右から永井則吉社長、片岡さん、永井酒造マーケティング&PR/海外コミュニケーション統括 永井松美さん